

新国立劇場2024/2025シーズン バレエ&ダンス  
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2024/2025 SEASON BALLET & DANCE

# 眠れる森の美女

The Sleeping Beauty



新国立劇場バレエ団  
The National Ballet of Japan

2024年  
10/25(金) ▶ 11/4(月・休)

芸術監督：吉田 都

振付：ウエイン・イーグリング(マリウス・プティパ原振付による)  
音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー  
編曲：ギャヴィン・サザーランド  
美術：川口直次  
衣裳：トウール・ヴァン・シャイク  
照明：沢田祐二  
指揮：ギャヴィン・サザーランド / 富田実里  
管絃楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Artistic Director: YOSHIDA Miyako

Choreography by Wayne EAGLING after Marius PETIPA  
Music by Pyotr Ilyich TCAHIKOVSKY  
Music Arranged by Gavin SUTHERLAND  
Set Designer: KAWAGUCHI Naoji  
Costume Designer: Toer van SCHAYK  
Lighting Designer: SAWADA Yuji  
Conductors: Gavin SUTHERLAND/ TOMITA Misato  
Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra



 新国立劇場  
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO  
オペラパレス—OPERA PALACE

【資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ】

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : [shimizu\\_c4725@nntt.jac.go.jp](mailto:shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp)

## 真実の愛で花開く！幸せいっぱいの名作バレエ

2024/2025 シーズンは、幸福感に満ち溢れる豪華絢爛な古典バレエ『眠れる森の美女』で幕を開けます。広く知られたペロウの童話に基づき 1890 年サンクトペテルブルクの帝室マリインスキー劇場で初演されて以来、世界中で上演され続けている格調と様式美を備えた傑作です。数ある古典バレエ作品の中でもひと際スケールが大きい作品として知られ、登場人物の多さと舞台の豪華さは他に類を見ません。

今回、新国立劇場バレエ団が上演するウエイン・イーグリング版は 2014 年 11 月にシーズン開幕を飾り新制作されたグランド・バレエです。古典のスタイルを守りながらも現代的な感覚を活かしたウエイン・イーグリングの振付、元ダンサーとしてのセンスが光るトゥール・ヴァン・シャイクの洗練された色彩豊かな衣裳、川口直次による格調高く豪華絢爛な美術は「シンプルにして豪華」な舞台として絶賛されました。また、主役級ダンサーが次々とソリストとして登場し、新国立劇場バレエ団ダンサーの層の厚さを実感していただけます。チャイコフスキー作曲の 3 大バレエの一つとして世界中で愛されている古典の最高傑作で、総合芸術としてのバレエの醍醐味をご堪能ください。



Art Direction & Design / Kenta Takakura (GLYPH Inc.)  
Photographer / Hideyuki Seta  
Flower / plantica  
Production / FLUSS PRODUCTION

## 見どころ

### その1：チャイコフスキーの名曲たち

『眠れる森の美女』の大きな魅力として挙げられるのが、観客を物語へ引き込むチャイコフスキーの壮大かつ流麗な音楽。有名な曲も多く、中でも第1幕で踊られる「ガーランドの踊り（ワルツ）」はディズニー映画に登場するなど、耳にしたことがある方も多いでしょう。初台駅の列車接近メロディーにも使用されていますので、ぜひ駅から『眠れる森の美女』の世界をお楽しみください。



### その2：多彩なダンサーたちの競演

第1幕で16歳のオーロラ姫が4人の王子（求婚者）を相手に踊る「ローズアダージオ」や第3幕でオーロラ姫とデジレ王子によって披露されるグラン・パ・ド・ドゥは、主役を演じるダンサーの確かな技術と表現力が必要とされる名場面。主役以外でも、プロローグのリラの子と6人の妖精や、第3幕のディヴェルティスマンなど、ベテランから若手まで新国立劇場バレエ団が誇るダンサーの踊りをご堪能いただけます。



### その3：ウエイン・イーグリング版ならではの演出

第2幕の終盤に挿入されるロマンティックな「目覚め」のパ・ド・ドゥ、プロローグに登場する気品の精や第3幕での親指トムの踊りなど、他のバージョンではお目にかかれないシーンは、『眠れる森の美女』を見慣れた方にも新鮮さを持ってお楽しみいただけること間違いなしです。

## ものがたり

栄華を誇るフロロスタン王の宮廷は、一人娘オーロラ姫の誕生に湧き上がり、幸せに包まれている。リラの精はじめ妖精たちも招かれた晴れやかな祝祭のさなか、突然雷鳴がとどろき、激怒した悪の精カラボスが登場。手違いで、ただ一人招かれなかったことを恨んだカラボスは、「姫は編み針を刺して死ぬだろう」と、不吉な予言をする。リラの精は、姫を守ることを約束、一同は安堵する。

時は流れ、芳しく成長したオーロラ姫 16 歳の誕生日、盛大な宴が開かれている。そこに見知らぬ老婆が現れ、姫に花束を渡す。花を手にも無邪気に踊る姫が突然倒れた！花束の中に針が隠されていたのだ。老婆の正体はカラボスだ。姫は死んでしまったのか...、宮廷の人々は悲しみに沈む。リラの精が現れ、姫と王国全体を長い眠りにつかせる。

100 年の歳月が流れた森に、デジレ王子と狩りの一行がやってくる。一人憂鬱な気持ちにとらわれた王子のもとに現れたリラの精は、その前にオーロラ姫の幻影を浮かび上がらせる。姫に魅せられた王子は、リラの精とともに姫が眠る森の奥の城へと向かう。城を見張っていたカラボスと手下だが、知と勇気を持つ王子を伴ったリラの精の前ではもはや無力だ。王子の優しい口づけで目覚めた姫は、愛をこめて彼を見つめる。姫もまた夢の中で王子に恋していた。時間を取り戻すように愛を育む二人。

100 年ぶりに目覚めた宮廷では、オーロラとデジレの結婚式が盛大に行われ、幸せに満ちた若きロイヤル・カップルの門出を皆が祝福する。



2018, 2021 年公演より  
撮影：鹿摩隆司

## スタッフプロフィール

### 【振付】 ウェイン・イーグリング Wayne EAGLING



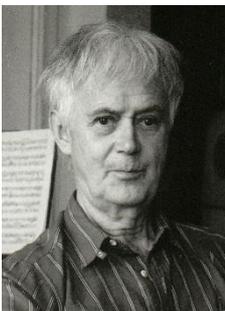
カナダのモントリオール生まれ。ロンドンのロイヤル・バレエ学校で学び、卒業後1969年に英国ロイヤル・バレエに入団。1975年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。同バレエ団のレパートリーの主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシュトン、バラシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ビントレーといった振付家の作品に出演。ロイヤル・バレエ・スクール用に『R.B.Sque』(83年)、ロイヤル・バレエ公演に『フランケンシュタイン、現代のプロメテウス』(85年)などを創作。91年にダンサーとしての現役を引退し、その後13年間オランダ国立バレエの芸術監督を務める。オランダ国立バレエのための振付作品は、『Ruins of Time』(93年)、『魔笛』(98年)、『春の祭典』(2000年)など。05年から12年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督として『レゾリューション』(08年)、『Men Y Men』(09年)、『くるみ割り人形』(10年)、『遊戯』(12年)の振付を行っている。新国立劇場バレエ団では14年『眠れる森の美女』を改訂振付、16年『Men Y Men』日本初演、17年『くるみ割り人形』振付を手がけた。

### 【美術】 川口直次 KAWAGUCHI Naoji



1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤嘉潮賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『パキータ』『こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』』、2014年『眠れる森の美女』、15年『ホフマン物語』、17年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。その他バレエの代表作としては、『新 白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほかに演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。

### 【衣裳】 トゥール・ヴァン・シャイク Toer van SCHAYK



アムステルダム生まれ。1955年～1959年までネザーランド・バレエで踊るが、ハーグ王立芸術アカデミーにて彫刻を学ぶために一時、ダンサーとしてのキャリアを中断する。1965年ダンスの世界に戻り、オランダ国立バレエでソリストとして活躍。1971年に振付家としてデビュー。1976年、オランダ国立バレエの常任振付家に指名され、30を超えるバレエ作品を創作。作品は、世界的なバレエ団でレパートリーとして上演されている。また、著名な視覚芸術家でもあり、世界各地で展覧会を開催している。1996年『くるみ割り人形とねずみの王様』の舞台美術と衣裳をデザインして賞賛を浴びる。本作品ではウェイン・イーグリングと共に振付けも担当し、ヘルシンキとワルシャワで上演された。1999年、再びこのコラボレーションでノーカット版バレエ『魔笛』を創作。同年、演出家ヨープ・ファン・デン・エンデによる、ミュージカル『エリザベット』の振付を担当。2003年、アシュトン『シンデレラ』の新制作を担当し、英国ロイヤル・バレエでの舞台美術デザイナーとしてデビューを果たした。また、『ロミオとジュリエット』の舞台美術デザインを行い、2009年にオランダ国立バレエの新制作バレエ『ジゼル』の舞台美術デザインを担当した。2011年、振付家および舞台美術・衣裳デザイナーとしての業績で、ブノワ賞を受賞。

**【照明】 沢田祐二 SAWADA Yuji**



東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を研修。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレステイア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊国屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

**【指揮/編曲】 ギャヴィン・サザーランド Gavin SUTHERLAND (25日、26日18:30、27日、29日、1日、2日、3日18:30、4日)**



イングリッシュ・ナショナル・バレエ (ENB) の首席客演指揮者。指揮者、作曲家、編曲家、ピアニストとして国際的に活躍している。『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『エクスタシーと死』(ENB)、『アラジン』(バーミンガム・ロイヤルバレエ) で指揮。ボーンマス交響楽団、BBC コンサートオーケストラ、ミュンヘン放送管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、オーストラリア・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ニュージーランド交響楽団、RTE コンサートオーケストラ、BBC ウェールズ交響楽団、ウェリントン・シンフォニア、オークランド・フィルハーモニア、北イングランドコンサート・オーケストラ、スコットランドオペラ・オーケストラ、ヨハネスブルグ祝祭管弦楽団を定期的に指揮している。また、ロイヤル・ニュージーランド・バレエのゲスト首席指揮者を務めており、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ノルウェー国立バレエ、南アフリカ・バレエ・シアターでも指揮。編曲家や作曲家としての活動も積極的に行っており、レイモンド・ガベイのコンサートで指揮と編曲を担当した。そのほかミュージカル『little women』、クラリネット協奏曲、室内楽曲、バレエ『Revolt Rhymes』(へそまがり昔ばなし)、チャイコフスキーの音楽を使った子供向けのバレエ2作品、ウエイン・イーグリングのバレエ作品『Men Y Men』のためにラフマニノフのピアノ曲を編曲している。ピアニストとしては、コンサートのソリスト、伴奏、室内楽奏者として定期的に活動し、80枚を超えるCDをリリース。新国立劇場では『眠れる森の美女』『ラ・シルフィード』『Men Y Men』を指揮している。

**【指揮】 富田実里 TOMITA Misato (26日13:00、30日、31日、3日13:00)**



埼玉県出身。国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部指揮教室等で指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、英国イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、日本でも東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団、NHKバレエの饗宴ほかで指揮を務め好評を得る。新国立劇場では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、17年よりレジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『不思議の国のアリス』などを指揮している。近年の新国立劇場以外の活動としては、新作バレエ制作の音楽監督や、バレエ音楽についての執筆・講義活動も行っている。現在、井上バレエ団音楽監督、新国立劇場バレエ研修所『バレエと音楽』講師。

## 配役・プロフィール

2024年	10月					
	25日(金) 18:30	26日(土) 13:00	26日(土) 18:30	27日(日) 14:00	29日(火) 13:00	30日(水) 13:00
オーロラ姫	佐々晴香	廣川みくり	小野絢子	柴山紗帆	佐々晴香	木村優里
デジレ王子	井澤 駿	速水渉悟	奥村康祐	福岡雄大	井澤 駿	渡邊峻郁
2024年	10月	11月				
	31日(木) 13:00	1日(金) 18:30	2日(土) 14:00	3日(日・祝) 13:00	3日(日・祝) 18:30	4日(月・休) 14:00
オーロラ姫	廣川みくり	小野絢子	柴山紗帆	木村優里	池田理沙子	小野絢子
デジレ王子	速水渉悟	奥村康祐	福岡雄大	渡邊峻郁	井澤 駿	奥村康祐

本公演にオーロラ姫役で出演を予定していた米沢 唯は健康上の理由により同役を降板することとなりました。代わって、佐々晴香（ベルリン国立バレエ プリンシパル）と池田理沙子が出演いたします。

### 【オーロラ姫】

#### 佐々晴香 SASSA Haruka ゲストダンサー（ベルリン国立バレエ プリンシパル）



Photo by Tobias Regell

5歳よりバレエを始める。2012年 Houston Ballet's Ben Stevenson Academy 留学。13年東京シティバレエ団入団。15年ドルトムント・バレエに移籍し17年スウェーデン王立バレエにセカンド・ソリストとして移籍。18年ファースト・ソリスト、19年プリンシパルに昇格。22年ノルウェー国立バレエにプリンシパルとして移籍し、23年ベルリン国立バレエに移籍。2024/2025 シーズンよりプリンシパルに昇格することが決定している。今までにマカロワ版『ジゼル』ヌレエフ版『白鳥の湖』ハイデ版とシュブック版の『眠れる森の美女』スティーヴンソン版『シンデレラ』などに主演、バランシン『アゴン』『Divertimento no.15』、キリアン『Bella Figura』、リファール『白の組曲』『影のソロ』、フォーサイス『In the middle somewhat elevated』『精確さによる目眩くスリル』『Blake Works』『Approximate Sonata』、ソルレオン『Stars Like Moths』、エクマン『エスカピスト』『LIB』、ドウソン『グレイエリア』など。

#### 小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>



東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橋秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。

**木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>**



千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主演デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』や F.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主演を踊り好評を博した。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

**柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>**



東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主演デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主演のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなどを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。

**池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>**



東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K バレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ジゼル』や F.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』、C.ウィーランド『不思議の国のアリス』などで主演を踊り好評を博している。

**廣川みくり HIROKAWA Mikuri <ソリスト>**



岡山県出身。堤ゆみ子、尺田知路、三谷恭三、ゆうきみほに師事。2016年に新国立劇場バレエ研修所を修了し、新国立劇場バレエ団に入団。21年ファースト・アーティスト、23年ソリストに昇格。24年 W.イーグリング『くるみ割り人形』で主演デビュー。『ラ・バヤデール』、貝川鐵夫『人魚姫』の主演を踊るほか、『眠れる森の美女』飲びの精、サファイア、D.ビントレー『アラジン』パール、『ドン・キホーテ』キューピッド、『ライモンダ』クレメンス、P.ライト『白鳥の湖』クルティザンヌ、ハンガリー王女、W.タケット『マクベス』三人の魔女、F.アシュトン『夏の夜の夢』蛾の精などを踊っている。24年岡山芸術文化賞受賞。

## 【デジレ王子】

### 井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>



群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

### 奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>



大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』などといった古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。

### 速水涉悟 HAYAMI Shogo <プリンシパル>



京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』『ジゼル』『くるみ割り人形』『コッペリア』『夏の夜の夢』『ラ・バヤデール』『アラジン』の主役のほか、『ロメオとジュリエット』ベンヴェーリオ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロルなどを踊る。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。24年中川鋭之助賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

### 福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

### 渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>



福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。

## 公演概要

2024/2025 シーズン

### バレエ「眠れる森の美女」

The Sleeping Beauty

振付	ウエイン・イーグリング（マリウス・プティパ原振付による）
音楽	ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
編曲	ギャヴィン・サザーランド
美術	川口直次
衣裳	トゥール・ヴァン・シャイク
照明	沢田祐二
芸術監督	吉田 都

指揮	ギャヴィン・サザーランド／冨田実里
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
出演	新国立劇場バレエ団

#### 【公演日程】

2024年10月25日（金）	18:30	
10月26日（土）	13:00	託児
10月26日（土）	18:30	
10月27日（日）	14:00	BST
10月29日（火）	13:00	
10月30日（水）	13:00	
10月31日（木）	13:00	
11月1日（金）	18:30	
11月2日（土）	14:00	BST
11月3日（日/祝）	13:00	託児
11月3日（日/祝）	18:30	
11月4日（月/休）	14:00	

\*開場は開演45分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

**託児**

託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。



バックステージツアー実施日（抽選）

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【主催】新国立劇場

【予定上演時間】約 3 時間 15 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/sleepingbeauty/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	14,850 円	12,650 円	9,350 円	6,050 円	4,950 円	1,650 円

○クラブ・ジ・アトレ会員の方は、先行販売期間は上記料金の 10%OFF、一般発売以降は 5%OFF でお求めいただけます。

\*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

一般発売日：2024 年 8 月 24 日（土）10:00～好評発売中

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入（座席選択可）>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>

イープラス <http://eplus.jp/>

ローソンチケット <http://l-tike.com/>

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999